

▶ 取得できる教員免許状

学校心理・学校健康教育・発達支援コースの専門科目を履修することによって、既得の1種免許状（幼稚園，小学校，中学校（全教科），高等学校（全教科），養護教諭）から専修免許を取得することができます。

▶ 各種の資格取得等

所定の科目を履修することにより、「学校心理士」「臨床発達心理士」「カウンセリング心理士（旧 認定カウンセラー）」の各資格の取得をサポートします。また、「健康教育実践プログラム」所定の単位の修得により、履習証書が授与されます。

学校心理・学校健康教育・発達支援コース Q&A

Q 学校心理・学校健康教育・発達支援コースでは何が学べますか？

A 子どもの成長や発達ならびに健康を総合的に支援・教育できる教師や専門家の育成を目指しています。多彩な授業と修士論文の作成を通して、子どもに対する心理教育的対応、予防的介入を含めた発達・学習支援、学校健康・安全教育・リスク評価など、学校内外の専門家や諸機関と協働する連携体制を構築できるような知識と実践力を身につけることができます。

Q 学校心理・学校健康教育・発達支援コースの受験に向けて、どのような準備をすればよいですか？

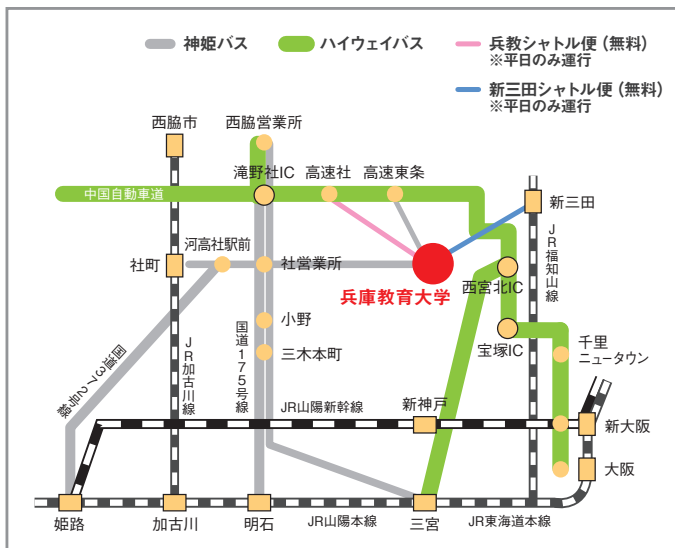
A 大学院では、これまでの教育実践などから生じた問題意識を研究課題として追究していきます。したがって、ご自身の問題意識や研究したい内容を明確にすることが最も大切な準備となります。試験対策としては、コースの4つの柱や指導を希望する教員の専門に関わる基本的な内容について調べておくといでしょう。

Q 学校心理・学校健康教育・発達支援コースを修了するとどのような進路が考えられますか？

A 子どもや教育にかかわる現場で、生徒指導，教育相談，学習支援，発達支援，学校保健安全，健康教育などに実践力を発揮していただきたいと考えます。これまでの修了生は、保育士，幼・小・中・高・特別支援学校の教員や養護教諭が中心で、公務員や各種相談機関等にも就職しています。その他に、大学院博士課程へも進学しています。

Q もっと情報を知りたいときはどうすれば良いですか？

A 入学案内や入試情報は大学に直接問い合わせるか、ホームページに随時アクセスすることができます。入試説明会では、コースの教員に直接質問することもできます。入試説明会の日程も、ホームページをご覧ください。



学校心理・学校健康教育・発達支援コース
ホームページはこちらへ



問い合わせ先

兵庫教育大学 〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
<https://www.hyogo-u.ac.jp/>

入 試 課 TEL 0795-44-2067
FAX 0975-44-2069
E-mail office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp

こころとからだの発達支援と教育を究める

学校心理・学校健康教育・ 発達支援 コース



学校心理

理事・副学長・教授
秋光恵子 子ども理解と学級経営の心理学
心理統計研究法演習

教授
藤原和政 生徒指導と学校教育相談
学校臨床心理学演習

学校健康教育

教授
岡本 希 衛生学・公衆衛生学
学校保健と健康教育

准教授
鳥取伸彬 運動生理学
健康教育

発達支援

准教授
細谷里香 子どもの発達支援
発達・学習支援特論

講師
清水真由子 情動・社会性の発達
生活や遊びを通じた学び



修論のトピックス	藤原 和政	細谷 里香	清水真由子	岡本 希	鳥取 伸彬
自尊感情 自己効力感	自尊感情, 自己効力感, 集団効力感	マインドセット, 有能感, 学習意欲 自己調整学習, セルフコントロール 非認知能力, 社会情動的スキル	非認知能力, 社会情動的スキル, 自尊感情, 自己肯定感	自己有能感, QOL, Gritやりぬく力	QOL,well-being,運動有能感
人間関係 コミュニケーション	ソーシャルスキル, 友人関係, 親和動機 学校・学級内の人間関係	情動的関わり, 情動調整, 情動表出 養護性, 親性準備性 共感性, 寛容性, 多様性理解 自己開示, 他者理解	自己への気づき, 他者への気づき, 心の理論, 自己のコントロール, 向社会性, 感謝, 共感性, 互惠性, 子ども家庭支援, アタッチメント		
学級経営	学級集団アセスメント 学級集団の状態に応じた人間関係, 授業づくり	教師と子どもの情動的関わり インクルーシブ指導行動, ほめ Behavior-Specific Praise	インクルーシブ教育		
ライフステージ		教員のワークライフバランス	乳幼児～児童期, 思春期	ライフステージ別の健康教育 ライフステージ間の関連	
発達支援・学習支援 アセスメント	ユニバーサルデザインを援用した支援	発達アセスメント, 学習のアセスメント ダイナミックアセスメント 認知特性, 学習支援, 通級指導	発達障がい児者支援, 包括的発達アセスメント, 合理的配慮		
発達		認知発達, 音韻認識, 空間能力, 実行機能,遊びによる学び 他者との関わりによる学び	情動・社会性の発達, 生活や遊びを通した学び, 関係論的発達		身体組成,体力,実行機能
不登校	学校不適応, 不登校, 中途退学の連続性, リスクファクターと支援のあり方	学校外学習支援, フリースクール		登校回避感情	
ストレスマネジメント		Highly Sensitive Child (HSC)		介護負担のコピーング	
レジリエンス		環境感受性			
学校環境 学級環境	学校, 学級集団アセスメント	学習環境, 関わりの質 アフタースクール 特別支援学級, 特別支援学校	子どもの遊び環境	学校, 地域における健康教育, ヘルスプロモーション, 保健授業の実施状況	学校,校庭,ソーシャルジェットラグ
ソーシャルサポート 援助希求	援助促進, 抑制要因			介護負担の援助希求, 相談行動	
連携	チーム学校	保護者, 保育者・教職員 学校外施設, 放課後等デイサービス	幼保小接続, 幼稚園, 保育所, こども園, 保護者との連携	教育と行政と地域の連携, ヤングケアラー	学校,スポーツ少年団, 総合型地域スポーツクラブとの連携
プログラム開発 介入研究	ソーシャルスキル教育, ソーシャルスキル教育と友人関係形成を セットにしたプログラム, 不安の低減を目的としたプログラム	保育学習, 養護性を育む教育 絵本・ビブリオバトルの活用 SEL・社会情動的スキルの学習 折り紙遊び	ソーシャル・エモーショナル・ラーニング	心肺蘇生教育, 栄養指導 運動介入研究, がん教育関連	運動・身体活動介入,栄養介入, オンライン指導
教員研修	教職員のメンタルヘルス	学びに向かう力 教師と子どもの関わり	幼保小連携	公衆衛生, 学校保健, 口腔保健	学校保健
生活習慣		HSCと食の課題, 家庭学習 ゲーム利用, SNS利用と学習		睡眠, スクリーンタイム, 食生活, 運動, 職種, 勤務時間	身体活動,座位行動,睡眠, 食生活,スクリーンタイム,長期休暇
リスクアセスメント				最近の健康課題のリスクアセスメント (ネット依存, 感染症, 肥満, 生活習慣病, 抑うつ, ゲーム障害, 低栄養, 認知症など)	生活習慣病,肥満・痩身,低体力, サルコペニア,抑うつ
ヘルスリテラシー			月経, 初潮	ヘルスリテラシー, 健康寿命, 保健行動, 行動変容, 感染症対策	ヘルスリテラシー
社会・文化			絵本, ジェンダー		

※ 修士論文の様々なトピックスについて,各教員が何に焦点を当てたり,どのように取り組んだりしているか,キーワードなどで示しています。